

# 農業における先端技術活用の 加速化を目指して

農林水産業の強化を図るためには、今やICTやAI、ロボット等の先端技術は欠かせない存在となっています。このシンポジウムでは、農業における先端技術活用の有効性や課題を多面的に捉え、その加速化に向けたこれからの展望について論議を深めます。

農業者をはじめとして、スマート農業にご関心のある関係者の皆様にとって有益な内容となっておりますので、是非ご参加いただきたくお願い申し上げます。

日時：平成31年**3月8日（金）** 13:00~16:40

会場：日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール（地下1F）

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

申込方法：事務局JATAFFのHPからお申し込みください。

<https://www.jataff.jp/event/smart.html>

申込締切：平成31年3月5日（火）

※当日、会場に余裕がある場合に限り、事前申込なしでのご入場も可能です。

**参加  
無料**

## プログラム

※講師のプロフィールは裏面をご覧ください。

司会：石脇 尚武（事務局）

- |                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| 【挨拶】農林水産省 農林水産技術会議事務局                 | 13:00~13:05 |
| 【導入説明】事務局（JATAFF）                     | 13:05~13:15 |
| 【第一部 講演：異なる視点で捉える先端技術活用の現状と展望】        |             |
| 1) 「先端技術メーカーの視点で／先端技術の活用で強い農業を実現する」   | 13:15~13:45 |
| 横山 恵一 氏（株式会社オプティム 執行役員）               |             |
| 2) 「先端技術利用者の立場から／先端技術の効用と課題」          | 13:45~14:10 |
| 山崎 能央 氏（農業法人株式会社ヤマザキライス 代表取締役）        |             |
| 3) 「オランダ農業に照らして／オランダの生産者が先端技術を導入する理由」 | 14:10~14:35 |
| 紀平 真理子 氏（maru communicate代表）          |             |
| 4) 「農業コンサルタントとして／コンサルティングで農業を強くする」    | 14:45~15:15 |
| 麻生 英文 氏（株式会社Delphy Japan シニアコンサルタント）  |             |
| 【第二部 補助事業発表：高度先端型技術の実装促進取組状況】         |             |
| 1) 「スマート農業時代における経営分析クラウドの実証活動と展開」     | 15:15~15:35 |
| 生駒 祐一 氏（テラスマイル株式会社 代表取締役）             |             |
| 2) 「スマート農業時代における養豚経営支援システムの実証活動と展開」   | 15:35~15:55 |
| 神林 隆 氏（株式会社Eco-Pork 代表取締役）            |             |
| 【第三部 総合討論：農業における先端技術の活用を加速するための課題と方向性 | 15:55~16:40 |
| ファシリテーター 三原 洋一 氏（NKアグリ株式会社 代表取締役社長）   |             |

# 講師プロフィール

## ①「先端技術メーカーの視点で／先端技術の活用で強い農業を実現する」

横山 恵一 氏（株式会社オプティム 執行役員）

AI・IoT・ビッグデータを活用して圃場管理サービスなど様々なスマート農業ソリューションを提供する株式会社オプティムで執行役員として事業を牽引する。ソフトウェア販売商社㈱アシストでアsembler・プログラマーとしてキャリアをスタートし、その後マイクロソフト社に入社、英語版・日本語版の「Microsoft Word」や「Microsoft Office」の品質向上に取り組む。2010年にオプティム入社後は、新規で起ち上げたプロモーション事業や海外事業展開等を推進。

## ②「先端技術利用者の立場から／先端技術の効用と課題」

山崎 能央 氏（農業法人株式会社ヤマザキライス 代表取締役）

埼玉県杉戸町才羽で水稲90ヘクタールを栽培し販売まで手掛ける。規模の大きさもさりながら、玄米専用の低温倉庫における14℃での保管体制のもと、鮮度の保持や防虫・防カビ対策を行い、通年の米販売に対応するなど創意工夫により先端的な経営を展開する。また農業コンサルティング、企業向けの農業体験、アジア地域の現地法人による日本式の稲作の普及活動など幅広い活動を行っている。

## ③「オランダ農業に照らして／オランダの生産者が先端技術を導入する理由」

紀平 真理子 氏（maru communicate代表）

2011年から約5年間オランダに在住したことを契機に農業界へ足を踏み込み、Van Hall Larenstein応用科学大学で農村社会学修士課程を修了する。帰国後もオランダを合わせ鏡にして日本農業のあり方に関心を寄せ、農業誌に38回にわたり「紀平真理子のオランダ通信」を連載、先入観のない視点でオランダ人とオランダ農業の実像を描く。現在、maru communicate代表として農業分野におけるイノベーションの社会実装のためのトレーニングやプロジェクトに取り組む。

## ④「農業コンサルタントとして／コンサルティングで農業を強くする」

麻生 英文 氏（株式会社Delphy Japan シニアコンサルタント）

日本の施設園芸をリードしてきた株式会社誠和にて施設園芸生産者へのサービス事業などに注力し、2011年度作のトマト栽培実験で日本で初めて50kg/10aを達成。その後、2014年世界各国での栽培コンサルタントの実績があるオランダの農業コンサルティング会社Delphy(当時GreenQ)と誠和社が共同出資してDelphy Japan社が設立されたのを機に、同社のシニアコンサルタントとして施設園芸分野の人材育成や現場でのコンサルティングに取り組む。

## ⑤「スマート農業時代における経営分析クラウドの実証活動と展開」

生駒 祐一 氏（テラスマイル株式会社 代表取締役）

Sier・農業法人運営/黒字化を経て、2014年、九州発農業ベンチャーテラスマイル(株)を創業。2017年冬に農業の経営分析を行うクラウドシステム「RightARM」をリリースした。現在17メーカー・1000ハウス・6500万レコードのデータを活用し、農協・地域商社と組み、経営分析と出荷予測を行っている。アグリテックを活用した新たなデータ基盤と、農業経営の指針を創ることが使命。グロービス経営大学院2010年卒業(MBA)、G1地域会議メンバーなど。

## ⑥「スマート農業時代における養豚経営支援システムの実証活動と展開」

神林 隆 氏（株式会社Eco-Pork 代表取締役）

平成29年11月29日、平成で一度の肉の年-いい肉の日にEco-Pork社設立。外資系コンサルティングファームにてテレコム領域の経営戦略・新規ビジネスモデル企画などに従事した経歴を持つ。世界で最も消費されている食肉である豚肉の生産性を高めることを目指し、農家の経営改善を支援する養豚経営支援システム「Porker」の普及に専心する。

## 【会場へのアクセス】



会場

日比谷図書文化館

日比谷コンベンションホール（地下1F）  
（東京都千代田区日比谷公園1-4）

交通

■東京メトロ

丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」  
B2出口より徒歩約3分

千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩約3分

■都営地下鉄 三田線「内幸町駅」

A7出口より徒歩約3分

■JR 新橋駅 日比谷口より徒歩約10分

【事務局】（公社）農林水産・食品産業技術振興協会

産学連携事業部 石脇 尚武

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階

TEL：03-3586-8644 FAX：03-3586-8277

E-mail：n-ishiwaki@jataff.jp